小中連携推進スローガン「元気いっぱい　笑顔いっぱい　夢あふれる三加和小・中学校」

三加和地区小中一貫教育だより
学びの里ハーモニー

平成２９年９月発行
三加和小学校・三加和中学校
No. 1

皆様におかれましては、平素より本校の教育にご理解、ご協力をいただき、誠に感謝申し上げます。

さて、平成27年度から文部科学省より指定を受け小中一貫教育の研究を始めて3年目となった本年度、三加和小・中学校では、これまでの実践を基に、授業をはじめ日常的取り組みの更なる拡充を図っているところです。今回は今年度の新たな取り組みをいくつかご紹介します。

なお、来たる11月22日（水）の研究発表会では、県内外の教職員、関係者の方々をお招きし、成果の一端をご報告するとともに、保護者や地域の方々にも授業を公開する予定です。

授　業

①　５・６年生への教科担任制・乗り入れ授業の導入

↑図工科　　↓音楽科

年間を通じ毎時間、小学校の外国語活動・図工・音楽・体育の授業を中学校の教諭が小学校教室に入って行っています。この時小学校教諭も一緒に授業を行っています。

また、算数・理科は適切な単元に中学校教諭が乗り入れを行っています。

専門的技能の習得や中学校で考えられるつまずき防止のため小中が連携して行う授業の取り組みです。

これらの教科のほか、国語科の古典、３・４年の俳句・短歌の学習、音楽会の指導等でも行っています。

また、中学１年生の社会科の授業に小学校教諭が補助として入る授業にも取り組みました。

↑外国語活動（英語）　↓算数科

②　先生方による小中合同授業研究会

「小中一貫教育における未来を切り拓く生きる力を身につけた児童生徒の育成」という研究テーマの下、研究授業を小中合同で参観し合い、今後の対策を含めた協議を行って次の授業に生かしています。

交流、合同活動

小学校では、中学入学後の人間関係づくりを考慮した隔年の学年による交流遊びを昼休みに行っています。また、小中合同の委員会活動も行っています。朝の挨拶運動に加え、９月は体育委員会の児童・生徒の企画・運営により小中交流遊びも実現しました。